

2019 年度 桜丘中学校 学校経営の全体構想

〈各務原市の方針〉 心豊かでたくましく、自立した人間形成を支える教育
「誇り・やさしさ・活力のある児童生徒」
～一人一人が幸せを実感できる学校教育～
〈学校の教育目標〉 志をもって生きる ～向上・礼節・思いやり～

◇学校課題

- ・一人一人に確かな学力を身に付けさせ、全国学調や岐阜県学調において、学校として全国平均や県平均をクリアさせる。
- ・自分のよさを自覚し、自信をもって生き生きと学校生活を送ることができるようにする。

◇生徒の実態

- ・落ち着いて学校生活を送っているが、自分に自信がもてない生徒が目立つ。
- ・他者の気持ちを理解したり慮ったりする態度が十分ではない。
- ・生活習慣や習熟度における個人差が大きい。

〈2019 育てたい力〉

「合い言葉：桜中 A B C D」

～社会の中でよりよく生きていくための汎用性の高い基礎力～

□多様性に富む集団の中で、他者と協働し、自分らしく生き生き生きる力

- | | | |
|----------------------------|------|---------|
| ①目標の達成に向け、我慢強く取り組むことができる生徒 | 忍耐力 | 目標への情熱 |
| ②感情をコントロールし、対人関係を調整できる生徒 | 自己抑制 | 自尊心 社交性 |
| ③異なる意見や立場を尊重し、仲間と共にやり抜く生徒 | 敬意 | 思いやり |

□情報を処理する力

- ④新しい知識や技能を積極的に身に付けようとする生徒

□情報を編集する力

- ⑤獲得した情報を活用し、考えたり、表現したりする生徒

〈学力の向上をめざして〉

- 1) 全教師が授業公開をする（だけじゃない授業）とともに、各教科部会は指導講師を招き、指導力の向上を図る。
- 2) 生徒による授業評価を実施し、課題を明確にして授業改善を図る
- 3) 独力で計画的に家庭学習に取り組むことができるよう、習熟度に応じた自主学習の方法を指導する。独自の自主学習ノート（桜ノート）を活用し、自主学習に取り組ませる。

〈豊かな心の育成をめざして〉

- 1) 一人一人のよさを積極的に見だし価値付け、自己有用感を高め、自尊感情を育む指導を心がける。
- 2) 生徒指導の3つの機能を生かし、異なる意見や立場を理解し、積極的に関わる態度を育成するとともに、居場所を実感させる。
- 3) 生徒会活動や委員会活動など、自治的な活動を支援し、生徒自ら学校作りを推進する意識と意欲を高めるよう指導する。

〈学習指導部〉

- ・朝読書、朝学習
- ・生徒が意欲的に臨む授業づくりの工夫
- ・授業と繋ぐ家庭学習〈実践推進委員会〉
- ・授業力の向上

〈生活指導部〉

- ・人権感覚を高める（まず教師から）
- ・規律ある生活の確立
- ・価値ある姿を広める
- ・迅速、正確、誠実な対応で信頼関係の構築

〈特活指導部〉

- ・学級経営を核に関わりの中で一人一人のよさを自覚させる。
- ・生徒の自治的な活動による学校作りの主体者意識を育成

〈健康安全指導部〉

- ・生活のリズムと規律を生み出す給食指導、清掃指導
- ・命を守る訓練
- ・教育相談の充実（生徒、保護者）

□2019 年度の挑戦

- 1) 知的活動の基礎である言語力を鍛える 「名文視写で国語力向上を」（アナログ教育への回帰）
- 2) チームで学年を育てる 「わたしの学級から私たちの学年への意識改革を」
・学年集会を核として リーダーの育成、学年のカラーの創造
- 3) 全員公開授業で授業力の向上を（だけじゃない授業の継続）
- 4) P T Aと連携した「非認知能力」向上プロジェクト 社会的情動スキル(OECD)向上
- 5) コミュニティ・スクールとしての小中連携等の工夫